

平成29年度事業報告

自：平成29年4月 1日

至：平成30年3月31日

平成28年度後半から景気回復が堅調さを増し、平成29年度は企業収益が過去最高を更新するものと見込まれております。雇用環境も着実に好転し、雇用者数が2年連続高い伸びを続けるとともに、その内容も正規雇用の伸びが非正規雇用の伸びを上回る充実したものとなっております。しかしながら、少子高齢化による生産年齢人口の減少と従業員の高齢化の進行は、企業にとって大きな問題となっております。従業員の高齢化に伴い、過重労働による健康障害を発症しやすく、脳血管疾患や虚血性心疾患といった重大な事態となるリスクも高くなることから、定期健康診断で異常を早期に発見し対策を講ずることが、より一層重要な事項となりました。

当協会は、職域を中心に年間約30万人の健康診断を実施し、企業の健康管理に貢献して参りましたが、平成28年度に約27万人の実績に減少いたしました。平成29年度はこれを挽回いたすべく全社を挙げて取り組みましたものの、遺憾ながらほぼ前年度並の規模に留まりました。

しかしながら、従来の検診車による巡回健診事業に加え、企業内診療所における健診運営の協力や健保施設内での保健指導、(公財)原子力安全研究協会との協力によるWBC (Whole body counter) 搭載車両の利用拡大、同業他機関との健診運営の協業等あらたな試みにも着手し、一定の成果をあげることができました。下期におきまして、インフルエンザ予防接種の要請にお応えすべく提携医療機関の協力を求めつつ、ワクチンの確保に努めましたが、供給不足により遺憾ながら約7割程度の実施率となりました。

当協会は受診者数の実績として表れない分野におきましても、健康管理・支援に関する多方面の要請にお応えしております。

平成29年度はあらたな事業モデルを展開するとともに、半世紀以上の実績を有する従来からの巡回健診事業の業績挽回を目指して組織を改編し、健診運営の管理体制と渉外活動を強化した結果、30年度の布石を打つことができました。これにより経営基盤の強化を図りつつ当協会の社会的責務であります、働く人びとの心身両面での健康に資することを達成する体制が整いました。来期はこの責務を全ういたすべく、全役職員一丸となって邁進いたします。

I. 事業内容

1) 健康診断事業

平成29年度の健康診断受診者総数は268,986人となり、前年度の受診者総数を923人下回りました。

下表に示すとおり、職域関係では微増、地域住民関係と学童・生徒・学生が僅かに前年実績を下回る結果となりました。

＜受診者区分別前年度対比表＞

(単位：人)

受診者区分	受診者数		差異 H29年度－H28年度
	平成28年度	平成29年度	
1) 職域関係	218,173	219,271	1,098
2) 地域住民関係	7,680	5,923	△ 1,757
3) 学童・生徒・学生	44,056	43,792	△ 264
1)～3) 総合計	269,909	268,986	△ 923

(同業他機関との協業や企業内施設の健診運営の協力は、健診結果報告書の作成業務を担当していないため、実績に含みません。)

健診区分別実績の詳細は別表(10ページ)のとおりであります。

2) 「ストレスチェック」の実績

平成28年度から本格的に開始(H27,12,1施行)した「ストレスチェック」の実績は、以下のとおりでありました。当協会は全衛連が推奨する定期健康診断と同時に効率的に受検することを提案いたしました。ストレスチェックについては、専属産業医が独自に取り組まれる事例が多数を占めました。しかしながら、渉外活動を強化したことに加え制度自体の浸透度も増したことから、実績は確実に拡大いたしました。

定期健康診断の日程調整の場で、従業員50人未満の事業場(努力義務)の大多数が、ストレスチェック受検の意向を示されるケースが少ないことから、引続き効率的に受検いただくべく提案して参ります。

＜ストレスチェック実績 前年度対比表＞

年度区分	H28年度	H29年度	差異 H29-H28
受託事業場数	102	130	28
受検者総数	15,699人	19,806人	4,107人

3) 特定保健指導

当期の特定保健指導は、直接事業所を訪問し指導を実践する方法に加え

当協会の産業保健スタッフが健康保険組合施設を定期的に訪問し、健保に所属する保健師とともに健保加入者の「初回面接」ならびに「継続支援」に協力する手法を併用いたしました。

実施状況は以下のとおり、動機付け支援・積極的支援ともに増加いたしました。

<特定保健指導実績 前年度対比表>

年度 区分	H28年度	H29年度	差異 H29-H28
動機付け支援	197 件	264 件	67 件
積極的支援	249 件	392 件	143 件

4) 内部被ばく線量測定装置（WBC）搭載車の稼働について

環境省が取り組んでいる「福島県内における住民の個人被ばく線量把握事業」について（公財）原子力安全研究協会のご指導のもと、当協会が保有するWBC搭載車を現地に派遣し、自宅に帰還または帰還予定の皆様の不安軽減に貢献いたしました。

稼働日数は、88日と28年度の実績9日を大きく上回りました。

5) 事務センター

健康保険組合の健診関連事務を代行する「事務センター」が本格稼働となって4年が経過いたしました。

主要業務の4年間の処理実績は、以下のとおりでありました。

<業務別処理実績推移>

(単位：件)

業務	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
① 予約管理	202,484	190,917	201,243	191,185
② 請求管理	194,815	249,928	243,740	246,801
③ 結果処理	214,101	248,377	241,654	252,141

年度毎に若干の増減がありますものの、健保加入者数が僅かながらも逡減傾向にあるなか、各業務の処理実績比率は堅調に上昇しております。

事務センターが担う健保の保健事業関連の代行業務は、徐々に拡大しつつあります。発足当初からの上記の主たる業務以外にも、あらたに業務を受託しそれぞれ次ページに示す実績となりました。

＜その他の保健事業関連事務代行実績＞

(単位：件)

業務区分	年度	H28年度	H29年度
パート先健診結果処理		393	340
立替結果・請求処理		3,423	7,816
インフルエンザワクチン接種補助審査(新規)		—	108,719
保健指導結果・請求処理(新規)		—	2,417
歯科検診結果・請求処理(新規)		—	22,676

II 技術研修会等

職員の技術力の向上を目的として、(公社)全国労働衛生団体連合会・中央労働災害防止協会等が主催する各種講習会・研修会に参加するとともに、協会内部での個人情報保護に関する継続セミナー等を開催いたしました。

(1) 外部講習会・研修会

開催日	内 容	主 催
H29年 4月15日	「OZAK新人研修会」	特定医療法人 大坪会
8月22日	「健康経営アドバイザー(初級)研修会」	東京商工会議所
8月31日	「労働衛生サービス機能評価施設認定実務責任者研修会」	(公社)全国労働衛生団体連合会 労働衛生サービス機能評価委員会
9月30日	「腹部超音波検査研修会(中級コース)」	(公社)全国労働衛生団体連合会
10月 1日	「第25回OZAK学術集会」	特定医療法人 大坪会
11月12日	「第30回栄養指導を結果につなげるセミナー」	(一財)日本家族計画協会
11月28・29日	「純音(気導)聴力検査研修会」	(公社)全国労働衛生団体連合会
12月 5・6日	「健診機関職員研修会(基礎コース)」	(公社)全国労働衛生団体連合会
H30年 1月16日	「ストレスチェック面接指導研修会Ⅰ 医師」	(公社)全国労働衛生団体連合会
1月17日	「ストレスチェック面接指導研修会Ⅱ 医師」	〃
1月22日	「胃がん検診読影従事者講習会」	(公財)東京都ガン検診センター
1月31日	「肺がん検診読影従事者講習会」	(公財)東京都ガン検診センター
2月 7日	「健診機関職員研修会(専門コース)」	(公社)全国労働衛生団体連合会
2月8・9日	「VDT・眼科領域健康診断研修会」	(公社)全国労働衛生団体連合会
2月 9日 & 23日	「普通救命講習会」	板橋消防署

開催日	内 容	主 催
2月15日	「特殊健康診断研修会」	(公社)全国労働衛生団体連合会
2月16日	都産健協 研修会 職域健康診断有所見率状況調査 これからの職域におけるがん対策	東京都産業保健健康診断機関連絡協議会
2月20日	「選別聴力検査研修会」	(公社)全国労働衛生団体連合会
2月23・24日	「特定保健指導実践者育成研修会」	中央労働災害防止協会

(2) 内部教育研修会

開催年月日	内 容
平成29年8月2・3日	「じん肺健康診断」 講師：診療所長 安藤 武士
8月31日	「腫瘍マーカー」 講師：(株)LSIメディエンス 播野 壮一 氏
10月13日 14日	「実務職層研修会」 一般職主体18名 1) 入職配属されてからの仕事について 2) これからの健診業務部について 健診業務部副部長 関根 恵一 3) これからの健診管理部について 健診管理部副部長 横山 修治
12月 9日	「第17回 年末研修会」 全常勤役職員・外部協力機関3社 16名 1) 各部アクションプランの説明と進捗 各部代表 2) 「各委員会報告」 個人情報保護委員会・安全衛生委員会・CS・ES委員会・リスクマネジメント委員会・医療技術情報委員会 3) 講演：「良い睡眠で毎日をイキイキと」 講師：(株)LSIメディエンス 健康支援室 永松 希望 氏 4) 「個人情報保護に関する継続セミナー」 (理解度テスト) 講師：(株)エムシーオフィス 代表取締役 栗原 秀樹 氏
平成30年 3月 2日	「第7回 管理職層研修会」 次長・課長・課長代理・係長 12名 講師：(株)ヒューマンエイジ研究所 石神 康成 氏 1) 課題討議1 「職場の現状紹介」発表と質疑応答 (演習) リーダーシップアンケート 2) 課題討議2 「職場課題の共有化」 職場のマネジメント課題の洗い出し 発表と質疑応答 (解説と講義) 「職場のマネジメント課題を構造的に捉える」 [課題演習] 「チーム力を向上させる手がかり」 発表 3) 課題討議3 「マネジメントを効果的に進めるためのリーダーの在り方」 (解説と講義) 行動計画作成
3月 7日	講演：「特殊健康診断について」 講師：診療所長 安藤 武士

Ⅲ 講演会の開催及びその他の発表、指導、協力等

(1) 講演会の開催

○ 平成29年6月27日

第52回定時社員総会終了後、社員ならびに顧客の皆様を対象に講演会を開催いたしました。

場所：リビエラ東京（豊島区）2階 会議室

演題：『健康経営のすすめかた』

講師：（公財）介護労働安定センター 東京支部
雇用管理コンサルタント 吉野 美奈子 氏

(2) その他の発表、指導、協力等

○平成29年4月～30年3月「平成29年度 福島第一原発事故に伴う緊急作業従事者に係る健康相談等事業」に参加いたしました。

（公社）全国労働衛生団体連合会が主導して取り組んでいる上記事業の支援窓口機関として、協力いたしました。

○ 4月16日 バングラデシュ（ボイシャキ）祭において胸部レントゲン撮影を含む無料健康相談ブースの運営に協力いたしました。

主催：ジャパン・バングラデシュ・ソサエティ

後援：豊島区、バングラデシュ大使館

場所：池袋西口公園

○9月1日～9月30日 「平成29年度 心とからだの健康推進運動」に参加・協力いたしました。

全国労働衛生週間の準備月間となる9月に展開される職域の受診率向上と心身両面での健康づくりの啓発運動に参加いたしました。

○10月25日 平成29年度『港地区健康と安全推進大会』に協力いたしました。

主催：三田労働基準監督署等で構成する「港地区健康と安全推進大会実行委員会」

場所：「ハローワーク品川」（港区芝5-35-3）

脳年齢測定・骨密度測定等の無料健康測定を担当いたしました。

○10月26日 『産業保健フォーラム IN TOKYO 2017』に協力いたしました。

サブタイトル：「こころ」「からだ」「しごと」かけがえのないあなたとわたし

主催：東京労働局、（公社）東京労働基準協会連合会、東京産業保健総合支援センター

場所：「ティアラこうとう」（江東区住吉2-28-36）

健康測定コーナーにおきまして、例年どおり骨密度測定・転倒リスク測定・簡易体力測定を実施するとともに、WBC搭載車による内部被ばく線量測定を実施いたしました。

○H30年3月1日 『平成29年度江戸川健康づくりセミナー』に協力いたしました。

主催：江戸川労働基準監督署

共催：（公社）東京労働基準協会連合会 江戸川労働基準協会支部、江戸川労働基準協会健康づくり研究部会

場所：「タワーホール船堀」（江戸川区船堀4-1-1）

体験コーナーにおきまして、骨密度測定・転倒リスク測定・脳年齢チェックを担当いたしました。

- 3月20日『第49回健康医学研究会』に協賛いたしました。

主催：一般財団法人 健康医学協会

協賛：当協会・（医社）生光会

場所：「幕張国際研修センター」（千葉市美浜区ひび野1-1）

基調講演Ⅲを担当いたしました。

テーマ：「睡眠不足が引き起こす不調」～睡眠の質をあげるために出来ること～

講師：医療技術部 保健師 宇津木 あずさ

IV 外部精度管理への参加状況

公益社団法人全国労働衛生団体連合会が主催する以下の精度管理調査に継続的に参加いたしました。

- ①平成29年度 胸部エックス線検査精度管理調査

評価A (29.11.20)

- ②平成29年度(第31回)労働衛生検査（鉛・有機溶剤に係わる生物学的モニタリング検査）精度管理調査

評価A (30.2.26)

- ③平成29年度 臨床検査精度管理調査

評価A (30.3.28)

当期は全衛連「労働衛生サービス機能評価機構」による訪問調査の実行期でありました。2月6日、訪問調査者による当協会施設実査の結果、135項目に及ぶ認定基準を充足し、制度発足以来6回目の更新となりました。

V 会議の開催

(1) 定時社員総会：平成29年 6月27日

(2) 理事会：平成29年 5月26日

平成29年 6月27日

平成29年10月27日

平成30年 3月27日

(3) その他

・常勤理事会

・ライン会議

・品質保証委員会

1) CS・ES委員会

2) T・Cリスクマネジメント委員会

3) 医療技術委員会

・安全衛生委員会

・機関誌編集委員会

・個人情報保護委員会

適宜開催

— 毎月定例開催

VI 研究資料の配布等の広報活動

(1) 事業年報の配布

平成28年度定期健康診断を実施した「職域関係」の有所見率を検査項目別・9業種に分類して集計し、表とグラフで統計結果を表すとともに協会の平成28年度のトピックスを掲載した事業年報を作成し、会員・顧客の皆様に配布いたしました。

(2) 機関誌「あおぞら」5・6号を発行しました。

当協会の機関誌「あおぞら」を発行し、事務センターや各部の紹介等協会の近況報告に加え「労働衛生対策の歴史」をシリーズで掲載し、顧客の皆様に配布いたしました。機関誌編集委員会の主導で、労働衛生関連法規の動向や、心身両面での健康づくりに役立つ情報を掲載し、皆様に提供いたしました。

VII 関係団体への協力等

①(公社)全国労働衛生団体連合会	監 事	会 長	大坪 修
②東京都産業保健健康診断機関連絡協議会	副会長	会 長	大坪 修
	理 事	理事長	白川 毅
	企画部会長	顧問	山岸 裕

Ⅷ 会員の異動状況

(H30, 3, 31現在)

会員区分	前期末	増加	減少	当期末
法人正会員	21	0	0	21
個人正会員	25	0	0	25
法人賛助会員	11	0	0	11
個人賛助会員	0	0	0	0
合計	57	0	0	57

(別表)

平成29年度健康診断区分別受診者数一覧表

1) [職域関係]

健診区分	受診者数(人)	備考
雇入れ時	6,074	
定期健康診断	44,270	
特殊健康診断	22,924	詳細は別記参照
生活習慣病健康診断	124,773	
その他健康診断	20,903	二次精密検査、定期追加検査含む
歯科	327	
合計	219,271	

別記 (特殊健康診断内訳)

健診区分		受診人数(人)	備考
法定	じん肺	362	
	鉛	353	
	有機溶剤	7,912	
	特定化学物質	4,743	
	電離放射線	1,131	
	石綿	372	
行政指導	有害光線	781	
	騒音	3,392	
	振動工具	297	
	腰痛	549	
	V D T	3,032	
合計		22,924	

2) [地域住民関係]

健診区分	受診者数(人)	備考
住民健康診断	5,923	行政・地区医師会よりの受託、及び事業所家族

3) [学童・生徒・学生関係]

健診区分	受診者数(人)	備考
学童健康診断	43,792	学童・高等学校・専門学校・専修学校・大学等

1) ~ 3) 合計 268,986人